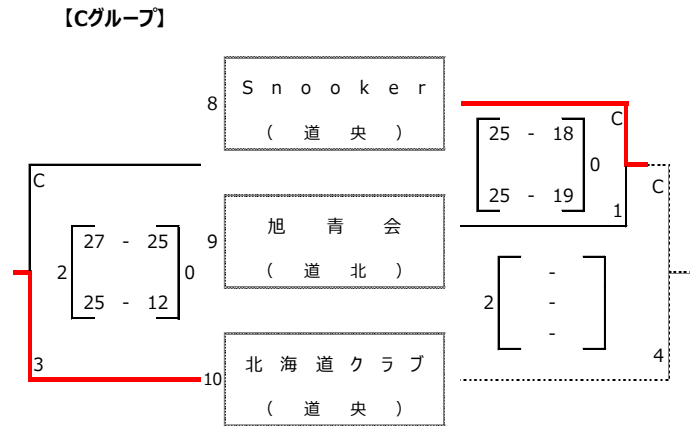
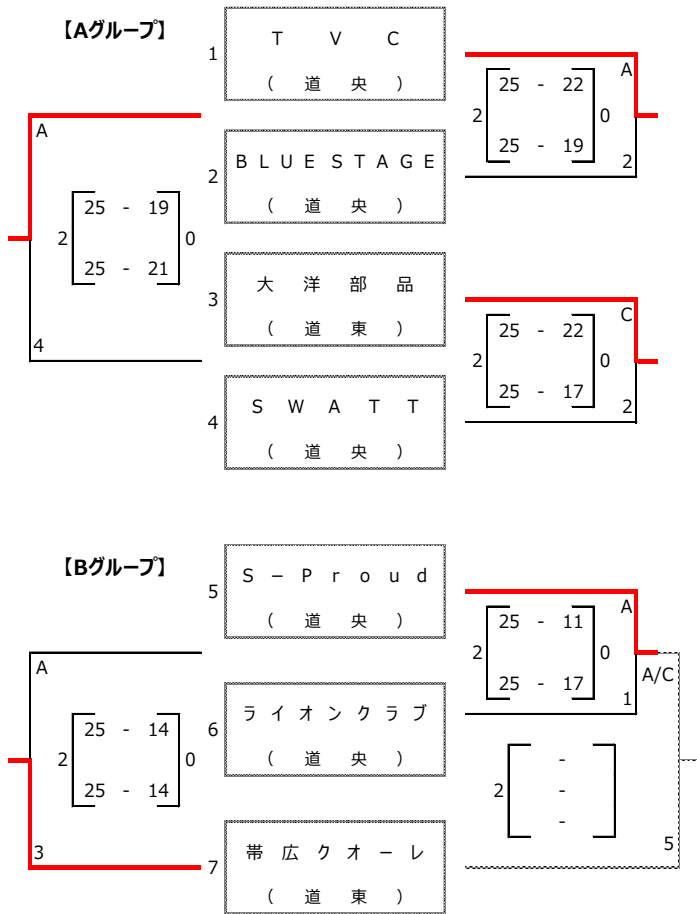


第37回 北海道クラブバレーボール連盟 会長杯争奪選手権大会

開催日：2019年5月18日～19日
会場：小樽市総合体育館

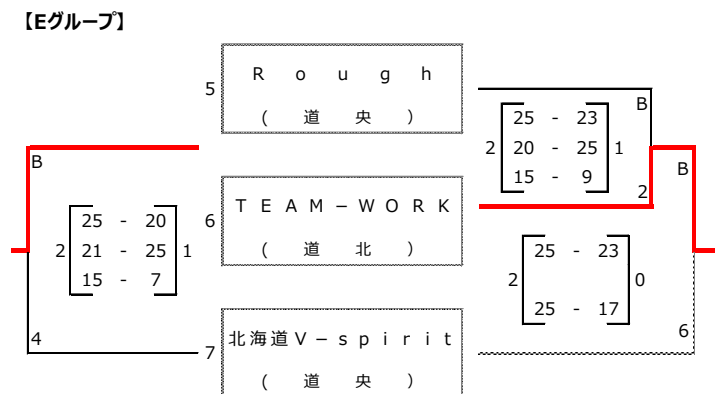
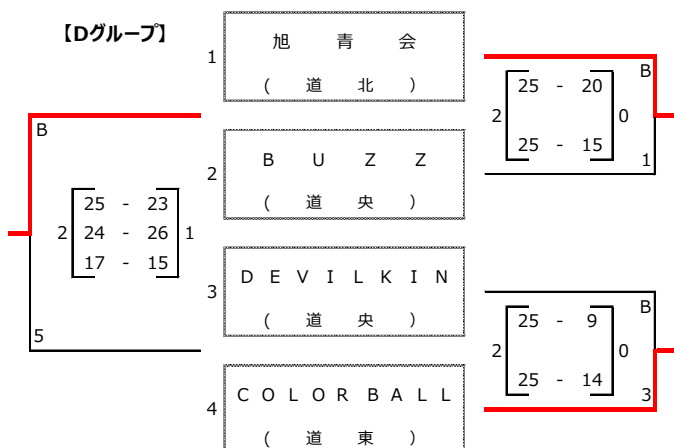
一志理郎
幸篤真二
沢古藤葉
沓瀬佐千
委員長
長官
委員
会務
大競審
総務

●6人制男子予選グループ戦（5月18日）



- 1) シードチームは以下の通りとします。シードチームは予選グループ戦で1敗した時点で決勝Tのシード権を喪失します
第1シード 大洋部品
- 2) B、Cグループはグループの1試合目の敗退チームともう一チームが対戦します。2敗のチームができた時点で以降の試合は行いません。
- 3) Bグループの最終試合（5試合目）はA、Cどちらか早く試合可能になったコートで行います。
- 4) 1日目の第7試合（決勝T）はA 6、C 6のどちらか早く試合が可能になったコートで行います。
- 5) 1日目の試合は3セット目15点制、2日目は25点制で実施します。
- 6) 決勝Tの最初の試合は予選敗退の3チームから4名以上ずつラインジャッジ、点字、記録のご協力をお願いします。

●6人制女子予選グループ戦（5月18日）



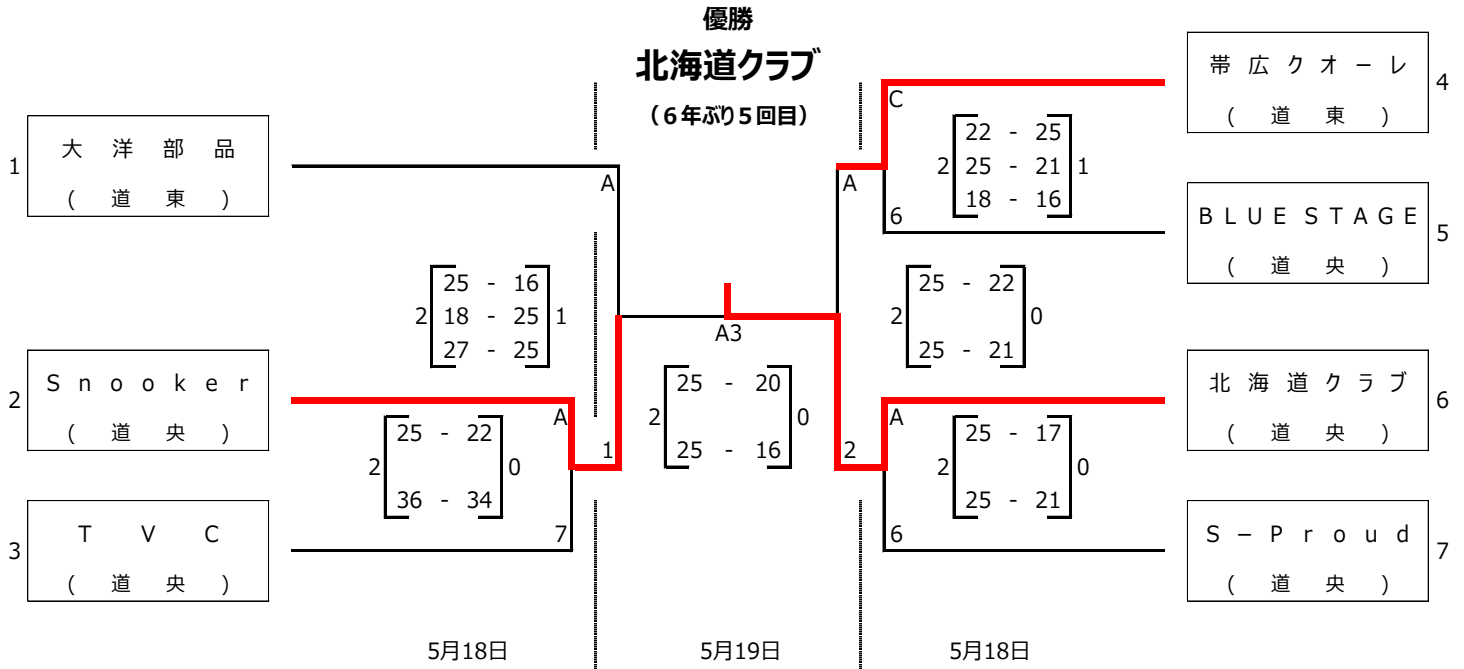
- 1) シードチームは以下の通りとします。シードチームは予選グループ戦で1敗した時点で決勝Tのシード権を喪失します
第1シード 北海道V - s p i r i t、第2シード C O L O R B A L L
- 2) B4はB2の敗退チームがもう1チームが対戦します。2敗のチームができた時点で以降の試合は行いません。
- 3) 5月18日の全試合は3セット目15点制、5月19日の準決勝以降は25点制で実施します

第37回 北海道クラブバレーボール連盟 会長杯争奪選手権大会

開催日：2019年5月18日～19日
会場：小樽市総合体育館

一志理郎
幸篤真三
沢古藤葉
沓瀬佐千
委員長
長官
委員
会技判務
大競争総

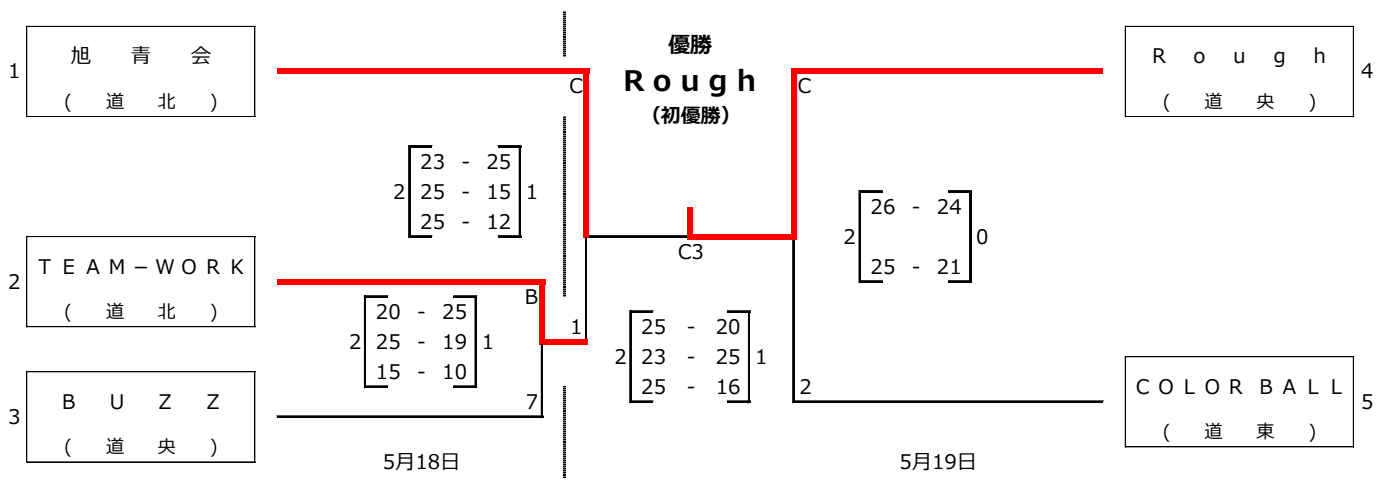
●6人制男子決勝トーナメント（5月18、19日）



(戦評)
序盤、北海道クラブは1番志茂のジャンプサーブで相手守備を崩し連続得点につなげる。その後も4番畑田のアタックなどで得点を重ねた北海道クラブが第1セットを先取した。第2セットはSnookerのブロックやレシーブにミスが目立ち徐々に点差が広がる。最後まで北海道クラブが自分たちのペースで試合を展開しそのまま勝利をものにした。

優勝： 北海道クラブ（札幌市） 準優勝： Snooker（札幌市） 第3位： 大洋部品（北見市）、帯広クオーレ（帯広市）

●6人制女子決勝トーナメント（5月18、19日）



(戦評)
第1セットは中盤、Rough7番畑中のサービスエース、旭青会にもミスが出て11-8とリードする。その後もコンビ攻撃などでリードを守り切り、Roughが第1セットを先取する。第2セットは序盤から旭青会がサービスエースやブロックなどで大量リードするもその後Roughも盛り返し、24-23まで詰め寄ったが粘り強いバレーで旭青会が押し切り第2セットを取り返す。最終セットは序盤はサイドアウトの応酬だったが中盤以降はRoughが旭青会のミスやブロックなどで徐々にリードを広げ25-16で勝利。早重な初優勝を遂げた。

優勝： Rough（札幌市） 準優勝： 旭青会（旭川市） 第3位： TEAM-WORK（深川市）、COLOR BALL（帯広市）